



進路だより

第7号 文責：小元 祐孝
令和元年10月2日（水）
角田高等学校・進路指導部

受験本番がスタート！！

夏休み明けから、3年生の専門学校や大学のAO入試、公務員試験、就職試験がスタートしました。3年生にとっては、夏休みの過ごし方が自分の進路を運命づけるといっても過言ではないほど重要な1ヶ月だったと思います。



大学を一般受験で考えている皆さんは、これからの3ヶ月が1番成績の伸びる期間です。夏休みにじっくり学習したことが花開くまで辛抱強く学習していきましょう。また、国公立大学・私立大学・専門学校の推薦入試希望者の皆さんは、準備が本格化します。一般入試の学習を維持しつつ、どうしてその大学（学校）に入学したいのかをよく研究して、面接、小論文等の対策を進めていきましょう。

【10月以降で注意すべきポイント（3年生）】

- ①計画的に行動すること（受験に関する書類の〆切、出願期間など）
 - ②自己PR、志望理由を具体的に伝える力をつけること
(AO・推薦希望者)
 - ③面接・小論文の練習の量と質の意識（必ず振り返りをし、次に生かす）
 - ④限られた時間で最大の効果を（模試の結果分析と復習を徹底的にやろう）
- ☆やみくもに学習するのではなく、弱点を見極め、戦術を考えて学習する。
- ⑤マーク試験対策+記述力の養成（国公立大学の二次試験に向けた学習）

1, 2年生の皆さんにとっては、先の話に思えるかもしれませんが、残された時間で、自分の進路の方向性を決め、それを達成させるための準備をしなければなりません。自分が将来やりたいことが何で、それを叶えるためには、どんな進路選択をすべきなのかを明確にする必要があります。オープンキャンパスや進路業者が企画している進路ガイダンス、総合的な探究の時間で行われている課題研究（商店街訪問、校外研究）、10月に行われる大学出張講義など、進路を考えるきっかけは身近にたくさん転がっています。3年生で苦勞している人は、3年生になってから将来のことや志望理由を真剣に考え始めた人です。志望理由書を完成させることに追われ、自分が本当にやりたいことをじっくり考え、志望理由を深めて、自分の意見として話せるようになるまでになっていない人もいます。2年生の皆さんは、10月から公務員、看護・医療希望者向けの模擬試験が始まり、進路希望別の取り組みが多くなってきます。職業、学問、自己の適性、ライフプランなど、いろいろな角度で進路を考え、分からないことは調べ、進路指導部の先生に相談するなどして目標を明確にし、早めの準備をしてください。



教師を志す高校生支援事業に参加して

8月7日(水)、8日(木)に宮城教育大学において、「教師を志す高校生支援事業」が実施されました。この事業は、教育講演会や研究室体験を通じ、「将来、宮城県の教育を担おうという志を持った高校生に、その意識の高揚と確かな学力の向上に寄与することで、生徒の進路希望の達成に役立たせる」という趣旨のもと、平成25年度から実施されています。本校からは、1年生2名、2年生7名、3年生1名の計11名が参加しました。参加した生徒の感想が後日、大学から送付されました。感想の一部を紹介します。



～参加生徒の感想～

(1) パネルディスカッションについて

3名の教員と1名の宮城教育大学の4年生の学生さんの話を聞いて、教師をする上で学ぶことやメリット、デメリットなどを知り、高校卒業後の進路を決める際にとっても役立つ1つになりました。私は今回この講習会は教師になりたいと参加したのではなく、将来まだ何になりたいかはっきりと決まっていなかったのでたくさんある職業の中でも教師とはどのような職業であるのか知りたくて参加しましたが、このパネルディスカッションでたくさんの人たちの話を聞いてみて、子どもたちのために一生懸命行動し、育てるために働いていることが分かりました。(1年生女子)

教師を志すきっかけはそれぞれ違っていたけど、共通しているのは人と関わって教師になりたいと感じたことである。仕事内容はどの先生も忙しいと言っていた。でもその分、やりがいのある仕事だと思った。生徒から裏切られることもあるけど、3月には報われると言っていた。どんなに裏切られても寄り添っていける先生になろうと思えた。教師になると大変なことがいっぱいあると知った。これからの生活で自分の目指す教師像を見つけ、そしてそういう教師になれるように頂いたメッセージを心に留め、苦手なことにもチャレンジして、いろいろな人と関わっていこうと思った。考えることをやめず、考えたことを行動に移し、これからたくさんさんの経験をしていこうと思います。(2年生男子)

先生という仕事は、子どもたちの未来を創る重要な仕事であるということを再確認することができ、現場で実際に働いている先生の考え方を聞くことで、より「教員」という仕事に魅力を感じることができました。今自分が一生懸命取り組んでいることが将来自分の財産となって返ってくることを信じて時間を有効に使いながら、「教員」という夢に向けて頑張りたいと思います。今回のパネルディスカッションを通して、子どもたちとの信頼関係を築き、子どもたちの意見や話をよく聞いてあげながら、私は子どもたちが信頼でき、また子どもたちが夢中になって楽しく活動できる場を創る「先生」になりたいと感じました。(3年生女子)

(2) 研究室体験

理科教育講座 笠井研究室

×線結晶構造解析など難しい言葉や分からないこともあったけど、結晶に興味を持てる内容だった。教材開発をしていると聞いて驚いた。まだ自分には難しいことがあったけど、大学生になって理解できるようになりたい。結晶の構造は似ているものもあれば似ていないものもあったし、簡単なものもあればすごく複雑なものもあった。どういう決まりがあるのか興味を持った。これからの高校の学習でしっかり基礎を学び、より詳しく研究できるようにしたいです。(2年生男子)

上記の事業以外にも、宮城県教育委員会主催の「医師を志す高校生支援事業」や高校・大学連携事業による公開授業などが開催されています。進路について考える有益な機会ですので、興味のある人は積極的に参加してみましょう。